

水稻新品種「レーク65」			
【要約】水稻「レーク65」は出穂期、成熟期とも「コシヒカリ」並みの <u>早生熟期</u> の極良食味品種である。短強稈で耐倒伏性が強く、収量性は「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」よりやや優る。玄米の外観品質は <u>良質</u> で、高温年でも乳白粒、心白粒の発生が少ない。			
農業試験場 先端技術開発部 生物工学担当		【実施期間】(平成3年度～16年度)	
【部会】 農産	【分野】 高品質化技術	【予算区分】 県単	【成果分類】 普及

【背景・ねらい】

県内では1999年以降登熟期間の高温が原因と見られる外観品質の低下が早生品種で続いている。早生品種の栽培にあたって、登熟期間の高温を避け、籾数を制限するように栽培指導を行っているが、栽培管理だけでは十分に品質向上が図れていない。そこで、高温登熟性に優れ高温年でも品質の低下しにくい早生品種を育成する。

【成果の内容・特徴】

「レーク65」は1991年に「ヒノヒカリ」を母、「キヌヒカリ」を父として人工交配を行い、その後代から育成した品種である。

出穂期および成熟期は「コシヒカリ」とほぼ同じで、「キヌヒカリ」より2～3日早い早生熟期の粳種である(表1)。

稈長は「コシヒカリ」より15cm程度、「キヌヒカリ」より5cm短く、穂長も「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」より短い。穂数は「コシヒカリ」と同程度で、「キヌヒカリ」よりやや多く、草型は中間型である(表1)。

収量性は「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」と同程度からやや多収である(表1、図1)。

玄米の千粒重は「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」よりやや重い。乳白粒、心白粒が少なく外観品質は「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」より優る(表1、図2)。

耐倒伏性は「コシヒカリ」より明らかに強く、「キヌヒカリ」並みの強である(表1)。

穂発芽性は「コシヒカリ」と同等以上の極難で、「キヌヒカリ」より発芽しにくい(表1)。

葉いもち、穂いもちの耐病性は「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」に優る中である(表1)。

食味は「コシヒカリ」と同等以上の極良食味である(表2)。

【成果の活用面・留意点】

地力中庸以上の平坦地に広く適する。

発芽が遅いので十分に浸種・催芽してから播種する。

短強稈で耐倒伏性は強いが、良食味米生産の観点から多肥栽培は避ける。

生育期間を通じて葉色が濃く推移するが、穂肥は適期(幼穂長1mm、出穂25日前)に施用する。

いもち病抵抗性は「コシヒカリ」および「キヌヒカリ」より強いが十分でなく、常発地で栽培する場合には留意する。

茶米の発生を防ぐために適期刈り取りに努める。

湛水直播栽培にも適する。

[具体的データ]

表1 特性一覧表

品種名	レーク65	コシヒカリ	キヌヒカリ
熟期	早生	早生	早生
草型	中間型	中間型	偏穂重型
出穂期(月・日)	7.23	7.23	7.26
成熟期(月・日)	8.29	8.28	8.31
稈長(cm)	72.4	88.6	77.7
穂長(cm)	17.3	19.0	18.2
穂数(本/㎡)	418	415	389
耐倒伏性	強	弱	強
葉いもち圃場抵抗性	中	弱	やや弱
穂いもち圃場抵抗性	中	弱	やや弱
穂発芽性	極難	難	やや易
精玄米重(kg/a)	55.0	53.5	54.1
同上比率(%)	103	100	101
千粒重(g)	22.0	21.1	21.3
外観品質(1~9)	4.4 (4.3)	4.8 (5.2)	5.3 (5.8)
乳白粒(0~5)	0.5 (0.7)	1.1 (1.3)	1.0 (1.0)
心白粒(0~5)	0.6 (0.6)	0.3 (0.4)	1.3 (1.4)

注1) 調査年次: 1998~2004年 調査場所: 農業総合センター農業試験場(安土町大中) 移植期: 5月10日頃(中苗)

注2) 外観品質、乳白粒および心白粒の()内は高温年(1999、2001、2002、2004年)の平均

表2 食味試験結果

品種名	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合	パネラー数	基準
レーク65	0.08	-0.01	0.08	0.08	0.01	0.10	121	コシヒカリ

注1) 1998~2003年の平均、パネラーは農試職員、パネラー数はのべ人数

注2) 基準品種を0とし、-3~+3の7段階で評価、硬さはマイナスのほうが柔らかい

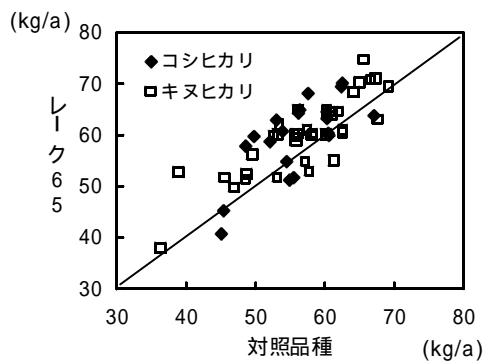


図1 現地調査における精玄米重

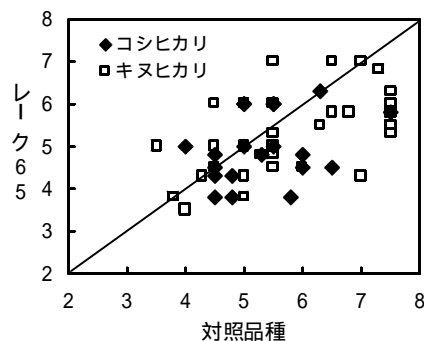


図2 現地調査における外観品質

注1) 2001~2004年に、のべ46ヶ所で調査、うち「コシヒカリ」は20ヶ所、「キヌヒカリ」は38ヶ所で供試

注2) 対照品種と比べて、図1では斜線より上の点は「レーク65」の方が多収であったことを、図2では斜線より下の点は「レーク65」の方が品質が良かったことを示す。

[その他]

・ 研究課題名

大課題名: 消費者等の多様なニーズにこたえる高品質・高付加価値化技術の開発

中課題名: 安全・安心・高品質な農産物の生産技術の開発

・ 研究担当者名

中川淳也(H10~16)、吉田貴宏(H11~16)、寺本薫(H5~10)、

野田秀樹(H3~9)、谷口真一(H3~4)

・ その他特記事項

要請課題: 湖北地域振興局(H15)、高島地域農業改良普及センター(H10)

草津県事務所(H9)、甲賀地域農業改良普及センター(H8)、他